



議会だより



議会活性化検討委員会から議会基本条例に関する答申がされました。(10月27日) 8頁に関連記事

7月臨時会

平成21年第5回越前市議会臨時会は、7月17日に開かれました。この臨時会では、市長提出の一般議案1件と人事案1件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・承認しました。

9月定例会

第6回越前市議会定例会は、9月2日から18日までの17日間にわたって開かれました。この定例会では、市長提出の補正予算案7件、平成20年度各会計決算認定案15件、一般議案2件が提案されました。各会計決算認定案は閉会中の継続審査とし、その他の議案は、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・認定しました。なお、一般質問には13人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

主な内容

| | |
|----------|------|
| 予算・条例審査 | 2～4頁 |
| 一般質問 | 4～7頁 |
| 議会基本条例など | 8頁 |
| 審議議案一覧など | 9頁 |
| 委員会審査など | 10頁 |

総額 7億3,048万円を追加補正

(千円)

| | 補正前 | 補正額 | 補正後 | 伸び率 |
|------|------------|---------|------------|---------|
| 一般会計 | 30,163,000 | 411,000 | 30,574,000 | 1.4 (%) |
| 特別会計 | 20,515,963 | 319,478 | 20,835,441 | 1.6 (%) |

議会人事

前副議長の議員辞職に伴い、空席となっていた副議長の選挙が9月定例会の初日に行われ、前田一博議員が当選しました。

前田 一博 副議長



期数2期 59歳
建設委員長などを歴任
(大志)

組合議会議員

南越清掃組合議会議員

福田 往世

武生三国モーターボート競走
施行組合議会議員

嵐 等

予算審議

※(一)内は質疑をした議員名

■選挙費 700万円
(城戸・片粕・中西・小形・玉川議員)

問 期日前投票の投票率が上がってきているが、さらにシヨックピングセンター等での出前投票所で投票率アップは考えられないか。

答 事務従事者の確保やコンピュータ回線の開設等費用が増大するなど、現時点での実施は困難である。

問 今回の選挙の時期は、各地区で文化祭や色々な事業と重なる。日程が重なった場合の施設使用の優先順位は。

答 投票所が既に借り上げられている場合には、選挙ということで、先に申込をされた方をお願いして理解を求めている。

■ふるさと雇用再生特別基金事業県補助金 1294万円

■緊急雇用創出臨時特別基金事業県補助金 5733万円
(細川・玉村・大久保議員)

問 この事業は市民の仕事起こしとして、雇用期間終了後も継続した雇用につながっていくのか。

答 これは3年間の事業で、仕事を失った方に次の就職までの間、継続的・臨時的に雇用の場を提供し、まずは生活の安定を図ることが目的である。

■戸籍住民基本台帳一般事務費 429万円
(前田修議員)

問 市民課窓口の電光掲示板が3ヶ月の間、修理せずに放置してあった理由は。

答 故障期間中はマイクで案内をしていたが、今回の補正予算が成立したならば、早急に修繕復旧し、市民に迷惑をかけないようにしたい。

■消費者対策事業 517万円
(佐々木・玉村・三田村・城戸議員)

問 昨年からの非常に厳しい社会情勢の中で、多重債務などの相談が予想されるが、庁内各部署での連携をどうするのか。

答 関係10課による多重債務者支援庁内連絡会と消費者センターが連携を取りながら、消費者被害の未然防止、早期発見に努めたい。



越前市消費者センター

予算審議

■公共施設バリアフリー化推進事業 450万円
(小形・玉村議員)

問 越前市内の旧来の公共施設について、スロープの設置やトイレの改修など計画的な改修がされているのか。

答 今回の事業は、スポーツ施設が対象であり、それ以外の公共施設は、関係部署と協議しながら段階的に考えていきたい。



バリアフリーの改修がされる武生中央体育館

■寿楽園改修事業 34万円
(三田村議員)

問 公の施設の修繕については、修理金額で区分するのではなく、施設の改修計画を作り、指定管理者との協定による改修を検討できないか。

答 施設の迅速な改修システムとして、協定書の考え方については、今後の検討課題と考

■高齢者家族介護支援事業 360万円
(三田村・吉田議員)

問 今回の高齢者の生活支援サポーターを養成する事業と、地域のネットワークづくりを進める地域福祉計画との関係は。

答 地域福祉計画を実現するために、今回の事業は人材の育成につながり、地域における助け合い、支え合いによる福祉活動がさらに推進されると考えている。

■公立保育園管理運営事業 2488万円
(川崎議員)

問 障がい児や気がかりな児童に対する保育は、緊急雇用の3年で済む問題ではなく、中長期的な取り組みが必要ではないか。

答 今後は障がい児や気がかりな児童も増加してくることが予想され、国の事業終了後も市独自の配置基準を定めて継続していきたいと考えている。

■地球温暖化防止対策事業 745万円
(玉村議員)

問 全国の自治体の中で太陽光発電を行っている例があるが、今後公共施設と庁舎に対して太陽光発電の設置は考えていないのか。

答 今年度末に公共施設の太陽光発電の設置計画をまとめる予定で、今後はその計画に基づき計画的に進める考えである。



太陽光発電装置が設置される武生南小学校

■こころの健康推進事業 43万円
(佐々木・題佛・川崎議員)

問 こころの相談窓口については月2回の開催ではなく、市独自で24時間体制の窓口対応はできないか。

答 市での24時間体制は考えていないが、県と連携を図りながら対応していきたい。

■県営公園整備事業負担金 1310万円
(城戸議員)

問 都道府県レベルでは国事業に対する地方負担をなくしていくという動きがあるが、市においては県事業負担金の見直しは考ええないのか。

答 知事に対して県事業負担金のあり方について検討を要請したが、政権交代による直轄負担金見直しがあれば、改めて県に対して要請したい。

■健康診査事業 638万円
(関議員)

問 今回、がん検診の無料クーポン券が配布されるが、未受診者に対する受診率向上策は。

答 検診の日程を追加し受診の機会を増やすとともに、未受診者には個別の案内を出すなど、あらゆる機会を捉えてPRをしている。

予算審議

■公会堂記念館地域連携強化事業 550万円
(関・中西議員)

問 市民と商店街との地域連携により開催するいわさきひろと母文江の武生展を、どのように取り組む計画なのか。

答 市民との協力については、母文江の女学校時代の資料提供について広報を通じて市民にお願いしている。商店街との協力については、まちなか博物館と連携して、多くの方が町なかへ訪れていただく方策を模索している。

■文化財保護事業 308万円
(玉川議員)

問 最近、公会堂で保管する刀の展示が少ないが、どのような管理をしているのか。

答 公会堂記念館の収蔵庫にてきちんと保管しており、展示に関して今後企画していきたい。

■スポーツ大会出場者激励事業 80万円
(玉川議員)

問 これは全国大会に参加される皆さんに激励として出されるものだと思うが、この予算の内容は。

答 要綱に基づき、国際大会、全国大会等に出場する越前市民を対象に段階的に激励費を出している。今回は、高校生の北信越大会や全国大会、小学生の大会出場者が多かったための補正である。



ちひろの生まれた家記念館



公会堂記念館

■下水道特別会計下水道管埋費 83万円
(城戸議員)

問 下水道敷設工事に関する損害賠償については、なぜ市が負担するのか。業者の責任はないのか。

答 今回の損害については、工事の完了検査を行い、市への引継ぎを受けた後から最終舗装を行うまでの間に発生したもので、専門の鑑定士によると施工箇所不良はなく、施工業者に瑕疵はないとの判定結果であった。

一般質問

質問・答弁の要旨は次のとおりで、1議員につき2項目のみを掲載しています。

新世紀・市民派ネットワーク

玉川喜一郎

食と農の創造ビジョン

Q 食と農の創造ビジョン基本計画策定について、議会ではかなり議論してきたが、その取り組みが農家の皆さんに届いていないのではないかと。

A 現在、営農団体や兼業農家など多方面から意見をいただいております。基本計画策定後には様々な機会を捉えて普及していきたい。

庁舎建設について

Q 10月に市長が再選された場合、市長は庁舎建設をいつ行うのか、現庁舎の耐震をどうするのか等の結論を出すべきではないか。

A 私が再選させていただければ、東部移転という大前提のもとで、金をかけずに現庁舎の安全確保をどうするかという方策を実施したい。

日本共産党議員団 前田修治

窓口負担金の減免を積極的に

Q 窓口負担が心配で、医療機関にかかれぬ人のため、国保一部負担金減免制度を積極的に活用することが緊急課題だが、市の認識は。

A 市の規則に失業等での減免規定を明文化し、関係機関とも連携しながら情報提供に努め、相談体制の構築に取り組んでいきたい。

高齢者への資格証の発行は

Q 保険料を払えない生活困窮者に対して資格証明書を発行せず、必要な医療を受ける機会が損なわれることがないようにすべきでは。

A 後期高齢者医療広域連合に対して、市は現場からの意見を述べ、窓口ではきめ細かい相談をしながら生活実態を聞いて対応している。

一般質問

質問・答弁の要旨は次のとおりで、1議員につき2項目のみを掲載しています。

政新会 中西眞二

土砂災害について

Q 土砂災害特別警戒区域内にある公共施設数と災害防止対策はどうか。

A 越前市管内の土砂災害警戒区域763箇所のうち、建物の崩壊が生じる恐れのある特別警戒指定箇所は611箇所である。ハード整備が必要などところは地元の合意を得て、県と話し合っていきたい。

中心市街地活性化について

Q 非常に高齢化が進んでいる東地区のまちづくりについて、どのようなまちづくりを計画しているのか。

A 東地区は市内で最も都市機能が集積している地域で、定住化・交流の促進を施策の大きな柱にして、駅に近いことから居住促進を中心にまちづくりを考えている。



東地区の町並み

茨城県行方市立小高小学校



校庭の芝生化について

Q 校庭の芝生化を安価にできる鳥取方式により、モデルケースとして生徒数の多い小学校に導入できないか。

A 鳥取方式は地域住民の作業奉仕で成り立っており、住民の理解が得られるかが課題である。今後、地域からの提案があればパートナーシップでの議論も考えたい。

鳥獣害防止対策について

Q 近年、鳥獣による農林被害が深刻化、広域化しているが、越前市における被害状況の把握方法と被害防止対策はどうなっているのか。

A 農家組合長にアンケートを実施し被害状況の把握に努め、中獣類の捕獲箱を設置するほか、年内の鳥獣被害防止計画作成を目指している。

公明党議員団 吉田慶一

吉野瀬川ダムについて

Q 吉野瀬川は河川改修で治水を考えていた川なので、まずショートカットの早期着工を県に強く働きかけ、完成後、再調査してダム本体に着手しても良いのではないか。

A この8月に国の多目的ダムから治水単独ダムへの変更承認がされ、治水対策はダムとショートカットとの両事業で行う必要がある。

職員の地域派遣を

Q 分権時代にあつて、市職員を地域に配置することは協働を推進する上で双方共にメリットが大きい。そろそろ地域に職員を派遣してはどうか。

A 職員の人材育成や協働の観点から、どのように自治振興会との連携を図っていくべきかを検討したい。

新世紀・市民派ネットワーク

大久保恵子

新型インフルエンザ対策

Q 院内感染防止のための一般患者と発熱患者の待合場所の分離、診療時間の延長や医師や入院病床の確保等について、医療提供側との協議はどうなっているのか。

A 県の丹南健康福祉センターが主催する連絡調整会議で協議し、今後具体策について検討される予定である。

安心・安全な歩道の確保を

Q 道路交通法の改正で特定の方が歩道を自転車で行けるようになったが、歩道は狭い上、凸凹が激しく大変危険なことを把握しているか。

A 従来の歩道は、旧規格での整備で段差を生じる構造になっていて、それを解消するために通行量の多いところを優先して整備を進めている。

公明党議員団 関利英子

一般質問

自由クラブ 題佛臣一

入札の指定商品について

Q 入札で同等品不可で商品が指定されている理由と、指定したあとの現状調査や現地状況は把握しているのか。

A これは市内企業が開発した商品を購入して応援しようとするもので、商品を選定する際に、様々な資料やこれまでの経過、公的機関の検査結果などを勘案している。

インフルエンザ対策について

Q インフルエンザ対策については、対応マニュアルで周知を図ることだが、今後のイベント等にはどう対応するのか。

A イベントの閉鎖や中止という方向ではなく、感染を防止する体制で、10月に開催されるたけふ菊人形でも消毒液の設置で対応していきたい。

服間保育園



認定商品を活用して改修が進むふれあいプラザ

諸派 細川かをり

経営品質向上について

Q 市民の声を反映するため、各種計画策定における市民参画者数を目標数値にしたり、評価の中に無作為抽出による市民の声をいれようか。

A 実践プログラム等に市民の参画数が検証できる目標設定を考えていくが、無作為抽出の市民評価をいただくことは研究させていただきたい。

幼保合同活動での給食提供

Q 幼稚園と保育所で、牛乳とスキムミルクの提供等に違いのある給食内容を、保護者等とどのようにして合意形成を図っているのか。

A 保育園児に学校給食の施設を使って給食を提供することも可能となってきたので、福祉部と教育委員会が連携を取り、地域と話をしていく。

新世紀・市民派ネットワーク

三田村輝士

障がい者の就労支援について

Q 障がい者の事業所同士の競争による契約は不適切である。行政の発注する仕事は競争ではなく、適切な指導の下で随意契約により発注すべき。

A 市も100%努力するが、障害者支援施設側の理解がないと調整は図れない。今回のことを教訓に努力し、理解も求めていく。

農業政策について

Q 国の農業政策の視点が担い手農家から一般農家に変わったことに合わせて、現在策定中の基本計画も見直しの必要はないのか。

A 食と農の創造ビジョンの根幹にかかるような国の政策に変更があった場合は、今後見直しを行うなど柔軟に対応していきたい。

政新会 城戸茂夫

庁舎移転について

Q 国がまちづくり三法を改正した今、日野川東部に庁舎移転までして、もう一つの極を作るということは難しく、問題があるのではないか。

A 再選させていただいたとしても今後4年間で、新幹線を含めた東部地区全体の大きな構想を発表できるような状況にはないと思う。

庁舎建設委員会の設置

Q 合併後4年を経過し、新たな新庁舎建設構想を作成するため、再度新庁舎建設委員会を設置してはどうか。

A 合併の経過を尊重することが重要である。再考するのであれば、最新の財政状況を踏まえて庁内の議論を積み上げたものを議会で議論いただくことが大事だと考える。

一般質問

大志 片粕正二郎

日本共産党議員団 玉村正夫

新世紀・市民派ネットワーク

上山直行

衆議院選挙について

Q 今回の衆議院選挙において、市長がある特定の候補者だけの応援弁士をされたと聞きますが、その真意は。

A 特定の政党を応援したのではなく、あくまでも越前市政の推進に支援いただいた現職の候補者からの要請を受け、出陣式と個人演説会に出席させていただいた。

ゲリラ豪雨について

Q 全国各地で毎年のように集中豪雨の災害が発生しているが、ゲリラ豪雨に対し、どのような防災計画の見直しを行っているのか。

A これまでの福井豪雨の教訓と、今回の佐用町の例も踏まえて、全庁を挙げ地域住民の皆さんと手を携えて防災体制の強化に取り組んでいく。

マニフェストについて

Q 市長のマニフェスト案には、短期的に取り組む事案と中長期的な視点に立って計画的に推進する事業の整理ができていないのではないか。

A マニフェストの中では、短期的課題、中長期的課題を峻別する認識に立って、一番大切な新庁舎建設事業の位置づけを示している。

道州制について

Q 道州制は、財政力の弱い自治体では病院・介護・福祉の施設整理や廃止が進み、逆に存続すると住民負担が増えてくる。市長は反対の態度を明確にすべきではないか。

A 道州制については時間をかけて論議し、当面は基礎自治体の基盤強化が優先されるべきだと考える。

整備の進む森林



福井豪雨（大滝町）

市の財政状況について

Q 財政健全化と元気な自立都市越前に向けた取り組みを進めるため、20年度決算での市の財政状況をどう評価し、どう行財政運営をするのか。

A 今後も予断を許さない経済状況であり、引き続き行財政構造改革プログラムに基づき健全財政の維持に取り組んでいきたい。

森林・林業行政について

Q 森林は緑の社会資本であり、森林資源を活用した循環型社会の実現に向けた取り組みが必要と考えるが、市としての対応は。

A 適正な森林施業とその継続的な実施が必要であり、市民・行政・林業者等の関係者が一体となって促進していくことが重要と考える。

議員の寄付

禁止のルール

公職選挙法により、選挙区内での議員の寄付行為（金品・酒類・物品等）が禁止されていますので、ご理解とご協力をお願いします。

贈らない

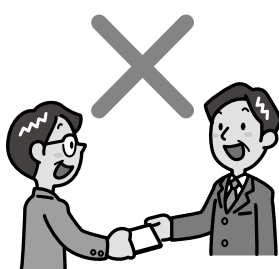
議員が地元イベント等で寄付をすること。

求めない

有権者や町内会等各種団体が議員に寄付を要求すること。

受取らない

議員が寄付を持ってきても有権者や町内会等各種団体は受け取らないこと。



「議会基本条例(素案)」ができました。 皆さんのご意見を募集します。

越前市議会では、議会及び議員の活動原則をはじめ、議会に関する基本的事項を定める「議会基本条例」の制定に向けて検討を重ねてきました。
このたび、その条例素案がまとまりましたので、素案に対する市民の皆さんのご意見を募集します。

制定の趣旨

近年、地方議会のあり方が大きく問われており、これまでに以上に責任ある活動が必要となっております。議会の監視機能がしっかりと働いているのか、市民の意見を反映した議論がなされているのか、議会や議員の活動が見えにくいという声も聞かれます。

越前市議会では、情報公開と市民参加を基本とする開かれた議会の実現を目指し、これまで議会の改革や議会活性化の取り組みを継続し、さらなる発展させていくために条例を制定します。

条例素案の特徴

この条例は、8章21条による構成で、

- ・ 議会情報の積極的公開による透明性の確保
- ・ 市民参加による開かれた議会活動の推進
- ・ 議会と市民との語る会の定例的な開催
- ・ 議員間での自由討議の推進
- ・ 市長等に対する反問の許可などの特徴を備えています。

詳しい資料は、市ホームページ、議会事務局、今立総合支所などでご覧いただけます。

意見の応募方法

様式は特に定めていませんが、住所・氏名・電話番号を明記の上、**12月15日(火)までに** 次のいずれかの方法で提出してください。

- ア 直接持込み
議会事務局(市別館3階)
- イ 郵送
〒915-8530
越前市役所議会事務局宛
ウ ファクシミリ
FAX 0778-23-3000
- エ 電子メール
gikai@city.echizen.lg.jp
- オ 提案箱
今立総合支所ロビー

意見交換会を開催

意見募集の一環として、「市民との意見交換会」を次の二会場で開催します。
是非お越しいただき、ご意見をお聞かせください。
また、このほかに各種団体との意見交換会も随時開催していきます。

- ・ 11月26日(木)
午後7時～9時
生涯学習センター今立分館
(岡本公民館)
- ・ 12月15日(火)
午後7時～9時
福祉健康センター
(アルプラザ)



前回の議会報告会

決算特別委員会を設置

今定例会に提案され、閉会中の継続審査とされた平成20年度各決算認定15案を審査するため、決算特別委員会を設置しました。選任された委員は次のとおりです。

なお、決算特別委員会は、10月5日・15日・26日・11月2日の4日間審査を行い、次の12月定例会で委員会審査結果が報告されます。

決算特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西野与五郎 |
| 副委員長 | 三田村輝士 |
| 委員 | 吉田 慶一 |
| | 細川かをり |
| | 城戸 茂夫 |
| | 大久保恵子 |
| | 中西 眞三 |
| | 嵐 等 |
| | 玉村 正夫 |

平成21年7月臨時会の審議議案

◎満場一致可決

〔一般議案〕

◎工事の請負契約について（武生南小学校北校舎改築工事）

〔人事議案〕

◎監査委員の選任につき同意を求めることについて

平成21年9月定例会の審議議案

◎満場一致可決

◇継続審査

〔補正予算案〕

◎平成21年度越前市一般会計補正予算（第2号）

◎平成21年度越前市一般会計補正予算（第3号）

◎平成21年度越前市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

◎平成21年度越前市下水道特別会計補正予算（第1号）

◎平成21年度越前市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

◎平成21年度越前市老人保健特別会計補正予算（第1号）

◎平成21年度越前市介護保険特別会計補正予算（第1号）

〔決算認定案〕

◇平成20年度各会計決算認定案15件

〔一般議案〕

◎市道路線の認定等について

◎工事の請負契約について（水循環センター建設工事）

〔請願〕

◇細菌性髄膜炎から子どもたちを守るワクチンの定期接種化に関する請願

◇『非核日本宣言』を求める意見書」採択についての請願

◇政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める請願

◇市議会議員の海外派遣時に喫煙規制の報告を求めることに関する請願書

◇公舎内（市議庁舎・市庁舎及び関係施設）の喫煙室・喫煙コーナー等の廃止に関する請願書

講演会が開催されました

去る8月19日、越前市と越前市議会の共催により、東京大学名誉教授の大森彌氏を招いて、「分権時代における市民・議会・行政の役割」と題した講演会が開催されました。

当日は、100名を超える方の参加があり、講演の後には参加者との活発な意見交換会が行われました。



川崎俊之氏が当選

10月11日に告示された越前市議会議員の補欠選挙において、川崎俊之氏が選挙により、10月18日をもって当選しました。

川崎俊之（50歳）

住所 〒915-1005 7

矢船町第2号9番地の1

電話番号（24）0205

当選回数 1回

7月臨時会 人事

・監査委員の選任に同意

赤川 廣喜（柳元町）

12月定例会日程

▼11月25日（水）

本会議（決算委員会審査結果報告、質疑、討論、採決、提案理由説明）

▼11月30日（月）

本会議（代表質問）

▼12月2日（水）～4日（金）、7日（月）

本会議（質疑、委員会付託、一般質問）

▼12月8日（火）～10日（木）

各常任委員会、特別委員会

▼12月14日（月）

本会議（委員会審査結果報告、質疑、討論、採決）

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の
主な内容です

総務委員会

教育厚生委員会

産業環境委員会

建設委員会

消費者対策事業について

公会堂記念館地域連携強化事業について

緊急雇用対策事業について

道路除雪対策事業について

委員から、市消費者センターの役割とその業務の範囲についてただされました。

委員から、公会堂記念館の今後の地域連携の方向性についてただされました。

委員から、今年3月から実施している緊急雇用対策事業における就業者について、制度上、9月で雇用期間の満了をむかえる方が出てくるが、その後の新たな就職状況等について、市として把握しているのかとただされました。

委員から、歩道の除雪については、通学児童の安全が確保されるよう車道除雪と同時に歩道の除雪を行う体制が取れないのかとただされました。

理事者からは、消費者庁をはじめ、国の法律や機関が整備されたことにより、市消費者センターでは、主に、悪質商法、多重債務、食品の安全、商品の安全性に関することが業務になっている。

理事者からは、今回の事業は、公会堂記念館を中心に、「ちひろの生まれた家」や「府中町屋倶楽部」と連携を図ると共に、市民からの資料提供やまちなか商店街等との地域連携を強化しながら、公会堂の展示のあり方を探ろうという試みのひとつであるとの答弁がなされました。

理事者からは、現段階ではそのような調査を実施していないが、今後雇用期間満了時における状況を把握していきますとの答弁がなされました。

理事者からは、車道と歩道の除雪を同時に行うことは、委託業者のオペレーターの確保などから現実的には難しい状況であるが、車道除雪の状況を見極めながらすみやかに歩道の除雪を行う体制を取っている。

しかし、市消費者センターにそのほかの様々な悩みの相談をいただいた時は、その担当部署や関係機関の専門窓口への案内や紹介をさせていた

の連携は非常に大事な部分であり、今後、事業を進めるにあたっては、時間をかけ関係団体と十分話し合いを行いながら、まちなかのにぎわい創出に向けて進めてもらいたいとの要望がなされました。

さらに委員からは、完全失業率はまだ高く、雇用情勢は厳しい状況であるので現状を十分認識し、企業に働きかけをしながら雇用対策に取り組まれないとの要望意見も出されました。

また、歩道の除雪については、行政だけでは対応しきれないこともあるので、学校や地域の方々の協力を得ながら、できるだけ早く対応するよう努力したいとの答弁がなされました。

本会議の様子は、丹南CATVでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。



市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

議会だより編集委員会

- 委員長 城戸 茂夫
- 副委員長 細川かをり
- 委員 三田村輝士
- 委員 関 利英子
- 委員 題佛 臣一
- 委員 西野与五郎
- 委員 前田 修治

問い合わせ先

越前市議会事務局
TEL (22) 3426